



ウイトラレポート 2011年7月号

「モバイルマネー」

はじめに

モバイルビジネスは現在大きな変革期にある。一つの要因はサービスの中心が電話からインターネットアクセスに移行している点である。もう一つはスマートフォンの普及によりモバイル用のサービスネットワークとパソコン用のインターネットとの垣根が取り除かれつつある点にある。この現象はサービスの主要プレーヤがオペレータからインターネットのプレーヤに移行することを意味している。一方モバイルインフラに投資しているのはオペレータであり、オペレータが設備投資の余力を失ってしまうと、この業界は発展しない。

私がかねがね金融事業がオペレータの持つ事業資産を生かす道であると思っている。それはモバイルオペレータが個人確認をした上で毎月料金を徴収して膨大な顧客との接点を持っており、携帯電話で買い物ができる環境が着々と整いつつあるからである。いわゆる貸付業務などは独自のノウハウが必要で難しいので決済手数料をメインビジネスとするネット銀行が望ましいと思っている。今月はこのような金融面でのオペレータの動きとモバイルマネーの動向を調査する。